

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスアップ船橋教室		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年通っていただいている利用者様が多く、 児童・保護者との関係性が構築していけていること。	活動内容や自由時間の遊びがマンネリ化しないように室内と室外の遊びを取り入れて、自発的に活動できる環境を意識している。言葉がまだ出ていない児童に対しても、筆談で話せる子が多いので、書いてお話をしして要求を満たせるように心がけている。	全体的に高学年が多いので、お買い物体験など、地域との触れあいを増やして社会に出てもスムーズに生活できるような体験を増やしていく。活動ではみんなの前で発表をする機会を作り、少人数の前で堂々と話をできる機会を増やす。
2	支援員の離職率が低く、長年勤めてくださっている方が多いので児童・保護者との関係が築けていること。	定期的にヒアリングをして、働きやすい環境を作る事を意識しています。同じ児童ばかりを対応するのではなく、入れ替えて児童と接するようにしてもらっているので、どの児童も各支援員と遊んでいます。	各支援員それぞれが中心となる活動を増やしていき、もっとそれぞれの支援員と関わりたいと思える環境作りが必要。
3	高学年が増えてきたので低学年が入っても、一緒に遊んでくれることが全曜日で増えてきている。	なるべく年上の児童に年下の児童を見てもらう環境を作り、年上の児童には相手の気持ちを考えられるように、年下の児童はお兄さん・お姉さんのお話を聞いて「聞く力」をつけれるような環境設定を心がけています。	それぞれ達成したことを伝えて、スモールステップで次の目標設定をしていき、自立してできる事を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎に出れる支援員が少ないため、お迎え時間を限定したり曜日で人数を限定しなければいけないところがある。	運転できるスタッフがなかなか増えないこと。	運転できる支援員に1つずつコースを覚えてもらい、稼働できる車の台数を増やせるように取り組んでいる。
2			
3			